

第27期 第3回北九州市スポーツ推進審議会会議録

1 議事及び報告事項

《議 事》

- (1) 平成30年度主要事業について
- (2) スポーツ団体への補助事業について

《報告事項》

- (1) 「北九州マラソン 2019」大会日程及び前回大会の報告について
- (2) 国際スポーツ大会等誘致活動状況について
- (3) ミクニワールドスタジアム北九州の利用実績について
- (4) 公の施設の使用料等の見直しについて

2 開催日時

平成30年5月14日(月) 10:00~11:30

3 開催場所

本庁舎5階 特別会議室A

4 出席者

◇審議会委員(敬称略)

出席委員	加倉井(会長)・南(副会長)・大木・奥永・河邊 ・倉崎・酒井・早崎・船津・宮田	10名
(欠席委員)	井上(副会長)・中山・濱田・平野・眞鍋	5名

◇北九州市

市民文化スポーツ局	村地理事(スポーツ担当) 本脇部長(スポーツ部) 城戸課長(スポーツ振興課) 山口課長(マラソン担当) 政徳課長(スポーツ施設担当) 三浦室長(国際スポーツ大会推進室) 藤本次長(//) 藤田係長(スポーツ振興課) ほか	13名
-----------	---	-----

5 議事の概要

(1) 平成30年度主要事業について

事務局より説明を行い、下記のとおり質疑応答があり、原案どおり承認された。

河邊委員 パラパワーリフティングの選手権大会が北九州芸術劇場であるが、舞台の上であるのか。

藤本次長 芸術劇場の舞台の上にウエイトリフティング専用の器具を設置して開催する。

船津委員 部活動振興事業の昨年度予算額について教えてほしい。

藤田係長 9千94万3千円。今年度は、金銭的には微減となっているが、部活動指導員の増員、新たに部活動指導をNPO法人に委託するなど部活動指導業務等の充実を図ったことで拡充事業として記載させていただいた。

船津委員 本城陸上競技場のサブトラックは、どこにできるのか。

政徳課長 陸上競技場の南側に、直線で100メートルと走り幅跳びの練習用コースを、L字型サブトラックとして新たに設置する。

大木委員 30年度予算が前年度から2億9千万弱増えているということだが、予算が厳しい中で、施設のプールと競技場の経費との兼ね合いはどうなっているのか。

城戸課長 既存事業について、見直しや予算の減額を行い、大規模事業となる桃園プール整備や本城陸上競技場サブトラック新設経費に充てる予算組みをした結果、予算増額となった。

加倉井委員 新規の「オリンピック・パラリンピック等のムーブメントの推進」事業期間は東京オリンピックまでか。

藤田係長 スポーツ庁の受託事業であるため、2020年の東京オリンピックまでの事業期間となっている。

加倉井委員 オリンピック開催を機会に、子供たちにスポーツを通じた文化やマナー、人権問題など、ぜひ終わった後も事業を継続してほしい。市での取組など考えているのか。

三浦室長 東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致活動では、単なるキャンプを一過性のもので終わらせないため、大会終了後もレガシーという形で関係国との交流を続けていくことを目的としている。

(2) スポーツ団体への補助事業について

事務局より説明を行い、下記のとおり質疑応答の上、原案どおり承認された。

大木委員 スポーツ団体等の各補助金の昨年度との予算の違い、他都市との比較等教えてほしい。

城戸課長 スポーツ関連の事業予算は、削減を行っているものもあるが、補助金については昨年と同額としている。団体に対する補助金の他都市との比較については、事業自体を委託や補助、自主事業などと形態が異なるため、単純比較ができないと考えている。

船津委員 大会開催補助と、大規模国際大会誘致等の補助の違いを教えてほしい。

城戸課長 大会開催補助は大会開催に対して支援するもの、大規模国際大会の誘致は開催に対する支援のほか、PR経費、誘致活動にかかる宿泊、交通費その他諸々を含んだものである。

加倉井委員 「トップアスリートの育成と競技スポーツの支援」はトップアスリートの育成として選手を迎えて講演や指導という事業となっているが、トップアスリートの指導者についての講習や研修は含まれているか。

城戸課長 指導者のスキルアップの講習、研修については計上されていない。

6 報告事項の概要

(1) 「北九州マラソン 2019」大会日程及び前回大会の報告について

平成31年2月17日に開催を予定する「北九州マラソン 2019」及び本年2月18日に開催された「北九州マラソン 2018」について事務局より報告を行った。

加倉井委員 北九州マラソンは8位とのことだが、ランキング1位の大会はどこか。

山口課長 同規模の大会では「愛媛マラソン」。

(2) 国際スポーツ大会等誘致活動状況について

ラグビーワールドカップ2019日本大会や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地誘致や大規模大会の誘致状況について、事務局より報告を行った。

南委員 事前キャンプと公認キャンプの場所や時期をできるだけ早く協議し、施設利用等の関係者に来年度の予定が立てやすいように配慮してほしい。特にスタジアムを使用する場合はJリーグの開催等配慮してほしい。

三浦室長 早めに協議が進むよう要請の上対応したい。

奥永委員 キャンプ地誘致について、昨年赴任していた八幡中央高校に、インドネシアのウエイトリフティングの視察があったが、決定の連絡はいつ頃あるのか。

三浦室長 決定の連絡は待つてほしいとのこと。引き続き誘致活動に尽力したい。

(3) ミクニワールドスタジアム北九州の利用実績について

ミクニワールドスタジアム北九州の利用実績について、事務局より年間使用目標100日を越え、106日となった旨の報告を行った。

(4) 公の施設の使用料等の見直しについて

受益と負担のあり方の視点から、本市の公の施設の使用料及び減免の見直しについて、事務局より説明を行った。また、学校体育施設の使用に伴う負担についても併せて説明を行った。

早崎委員 市立学校の施設使用料の支払い方法を教えてほしい。

政徳課長 使用する前に、申請書とコンビニ等で購入いただいた納付書を添付して、使用する施設の学校に提出する、という方法で検討している。

河邊委員 北九州市の財政的な実情から、将来的な年長者も一般料金にする必要があるのではないかと思う。